Creative Enzymes®

コンドロイチンBリアーゼ

Cat. No. EXWM-5094

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	これは、基質としてデマタン硫酸に特異的であることが知られている唯一のリアーゼです。触媒反□に必要な最小基質長はテトラサッカライドです。一般的に、コンドロイチン硫酸（CS）およびデマタン硫酸（DS）鎖は、リンケージ領域、チェーンキャップ、および繰り返し領域で構成されています。CSの繰り返し領域は、グルクロン酸（GlcA）とN-アセチルガラクトサミン（GalNAc）の繰り返し二糖からなり、[-4)GlcA(β1-3)GalNAc(β1-]nの形をとり、GalNAcのC-4および/またはC-6およびGlcAのC-2でO-硫酸化されることがあります。CSのGlcA残基は、エピマー化されてイドウロン酸（IdoA）となり、DSの繰り返し二糖[-4)IdoA(α1-3)GalNAc(β1-]nを形成します。硫酸エステル置換基の濃度と位置は、グルコサミノグリカンの供給源によって異なります。
別名	コンドロイチナーゼB; ChonB; ChnB

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 4.2.2.19
CAS登□番号	52227-83-5
反□	(1→4)-β-D-ヘキソサミニルおよび(1→3)-β-D-グルクロン酸ニルまたは(1→3)-α-L-イドウロン酸ニル結合を含むデルマタン硫酸の除去的切断により、4-デオキシ-β-D-グルク-4-エヌロン酸ニル基を含む二糖を生成し、4,5-不飽和デルマタン硫酸二糖（ΔUA-GalNAc-4S）を得る。
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。